

病院年報

2023 年度



社会医療法人恒貴会

協和中央病院

目次

1. 事業計画

- 1) 2023 年度 協和中央病院 事業計画

2. 診療実績

- 1) 協和中央病院 年度別患者数
- 2) 2023 年度診療科別・月別患者数（外来延患者数）
- 3) 2023 年度診療科別・月別患者数（入院延患者数）
- 4) 年齢別患者数
- 5) 地域別患者割合
- 6) 放射線科 年度別検査件数
- 7) 検査科 年度別検査件数
- 8) リハビリ科 年度別リハビリ件数
- 9) 歯科口腔外科 年度別患者延数
- 10) 健康医学管理課 年度別人間ドック等実施者延数
- 11) 居宅支援事業 居宅件数・医療福祉相談件数
- 12) 手術件数（上位 20 項目）
- 13) 疾病中分類
- 14) 救急・時間外年度別患者数

【2023 年度 協和中央病院事業計画】

1 【目的・役割】

国内外の情勢の変化、また増加し続ける社会保障費の抑制を目的とした諸政策により、病院を取り巻く経営環境は厳しさが継続している。これまでと同様の医療提供では収支の均衡を保つことは厳しい状況である。

このような情勢ではあるが、協和中央病院は、「相手の立場に立つ」という法人理念を職員が一丸となって取り組み、地域の急性期医療の中心を担う医療機関として、良質かつ安心・安全な医療及び介護を持続的に提供していくという使命感をもち、「患者様から信頼される病院」そして「職員が働きがいのある病院」をめざす。

2 【年度目標】

- ① 赤字体質からの脱却を目標に、入院収入増収に向け、入院患者の受入れ、入院化率の高い救急車受入れ体制を強化する。

目標値：全体収入3%増収 入院稼動率93% 平均在院日数19日以内

外来1日360名以上 救急車受入年間1,500件（夜間休日救急受入件数年間750件） 経費5%削減

- ② 「患者様から信頼される病院」を実現するため、診療体制の充実、及び強化に向け、医師、看護師、薬剤師の確保を優先的に取り組む。
- ③ 国の新型コロナウイルス感染症対策に柔軟に対応する。また職員自身の健康管理に努め、自己啓発と感染防止に取り組む。
- ④ 2025年の地域医療構想に向け、地域の基幹病院として当院の方向性について進める。急性期医療から慢性期、在宅までのサービス体制を保ちつつ、地域の人口減少、高齢化の進行を見据え、住民に安心を与えられる医療提供体制の構築に努める。

3 【事業計画】

I 地域社会に貢献する

- ① 恒貴会グループ各施設の役割、機能を十分に活用するため密接に連携し、救急医療から在宅までの医療提供体制の維持、また、さらなる医療サービス向上に努める。
- ② 社会医療法人認定要件継続に向け、救急患者受入体制の強化を行う。
また、同認定要件である災害医療（DMAT）、へき地医療についても検討する。
- ③ 地域の医療機関、介護施設、また各行政機関と密に連携し、患者・利用者の確保に努める。

II 業務改善と人材確保、離職防止に努める

医療体制の継続、さらなる医療サービス向上をめざし、マンパワー不足の解消に努める。

医師、看護師、薬剤師確保を最重要課題とし、紹介会社の活用、各種学校への訪問を積極的に行い、法人の魅力を最大限にアピールする。また、救急受入体制強化に向け救命救急士の採用を進める。

- ① 入職希望者へ院内見学、職員との直接会話等を行い、新たな職場となる病院への不安解消をはかる。
- ② 働き方改革を踏まえ、労働時間、有休休暇等の改正に即した労働環境・雇用形態・勤務体系の整備に努める。
また、各部署の業務見直し、改善を行い、残業時間短縮を図る。
- ③ 人材育成として、専門的知識・技術取得、また専門資格取得等、職員の啓発意欲を積極的に支援し、職責へのモチベーション向上を促す。
- ④ 職員の定期健診診断の結果に基づく健康管理強化（受診勧奨）を行う。また、ストレスチェック受検率向上、相談窓口の体制強化を図る。

III 建物・設備のメンテナンスの充実をはかる

- ① 将来的な建て替えを視野に入れつつ、快適な療養環境の充実を図るため改修すべき老朽設備の整備に取り組む。
- ② 改修設備
入院案内所設置・待合室身障者トイレの設置・病棟身障者トイレ改修・病棟浴室改修・病棟休憩室改修・病室ドアの改修・病室廊下等壁天井張替え・給排水設備の改修・駐車場舗装工事 等々
継続的な医療提供を行うため、施設改修に向けて中長期的に更新を行う。
- ③ 医療機器等、機能、性能維持及び適正な使用を図るため計画的な保守点検を行う。
- ④ 機器更新において、当院の規模、件数及び診療報酬に見合った機器選定を行い、計画的な更新を行う。

IV 医療安全及び危機管理体制

- ① 医療事故防止・医薬品安全管理・医療機器安全管理・情報セキュリティー対策・ハラスメント防止対策の危機管理を徹底するため、時代・実情に即したマニュアルの改善と、マニュアルに沿った対応を強化する。
- ② 院内感染防止対策として、様々な感染症の院内発生・院内持ち込み防止の強化を図る。また職員自身の健康管理に努め、自己啓発と感染防止に取り組む。
- ③ 個人情報の漏えい防止に職員一丸となり努める。
- ④ 電子カルテ等システムのトラブル及び電源ダウン等不測の事態に備え、必要な更新、メンテナンス等を励行しシステム障害リスクの軽減を図る。
- ⑤ 患者の暴力や迷惑行為、また苦情処理や訴訟対応を多職種連携し対応・対策に取り組む。

- ⑥ 医療安全対策強化として、インシデント報告を基に事例分析・分析結果・改善及び再発防止に取り組む。
- ⑦ 医療安全に関する最新情報の把握と職員への啓発を図る。
- ⑧ 大規模災害に備え、自ら被災した中で初期救急医療体制が保てるかが重要である。寸断なく医療提供を行う、人命を最大限優先する、地域の医療提供の核となる、を重要課題とし、マニュアルの見直し及び危機管理体制の強化を図る。

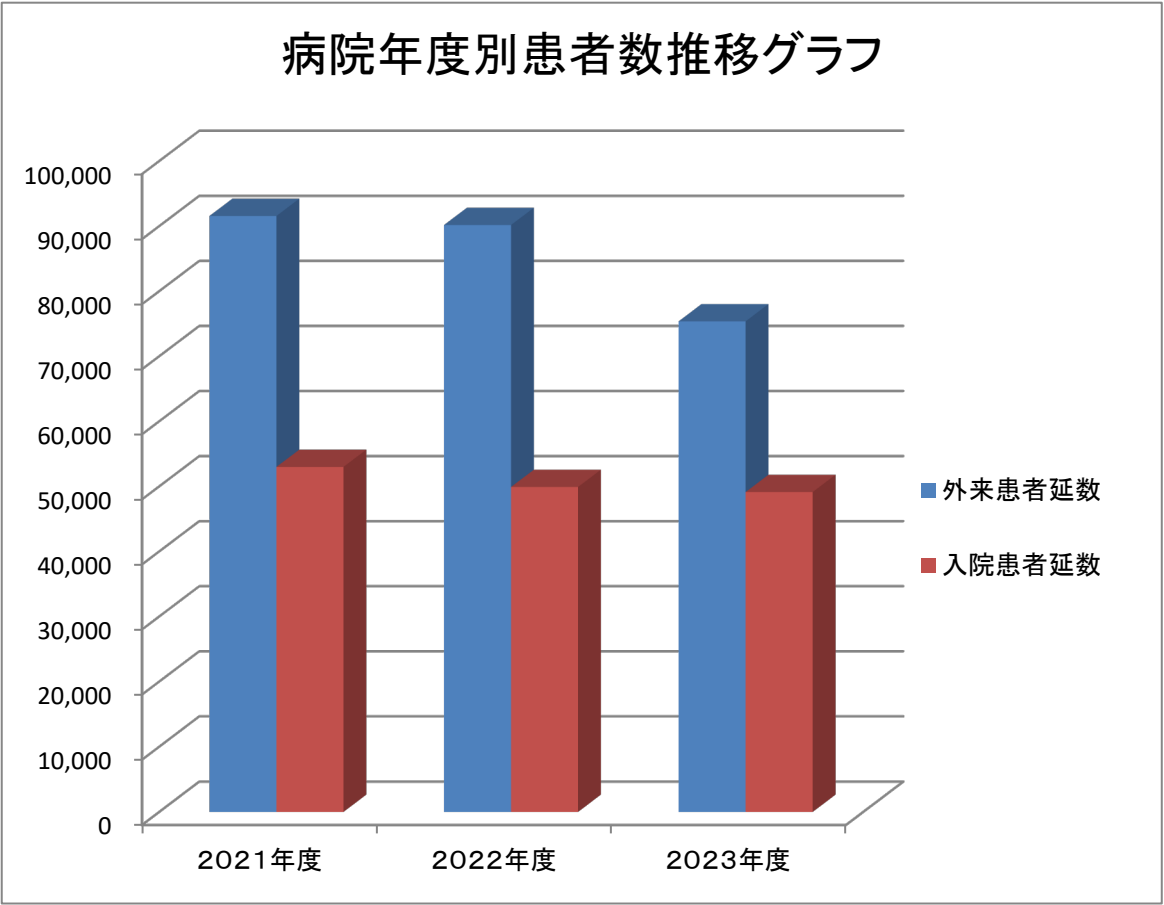
V 経営改善

- ① 赤字体質からの脱却、安定した財務基盤の構築を目標に、医業収益の7割をしめる入院収入増収に向け、入院患者の増患、入院化率の高い救急車受入れ体制を強化する。
- ② 不採算部門を洗い出し、人員の見直し、収益増への検討を行い、不要な経費の圧縮を進めキャッシュフローの改善に取り組む。
- ③ 予算管理を徹底し、月次実績、月次収支を短期間で確認し経費削減に取り組む。
- ④ 取引金融機関へ業績推移、進捗状況等を説明し、良好な信頼関係を維持する。
- ⑤ 病院事業を継続及び成長させるために、内部的環境、外部的環境を迅速に把握し、国が進める2025年の地域医療構想に向け、地域の基幹病院として当院の方向性について進める。
新たなビジョン、プランの作成、機能再編や必要ならダウンサイジングの検討を行う。

(1)協和中央病院 年度別患者数

(単位:人)

		2021年度	2022年度	2023年度
外来	新患者数	7,834	8,300	6,824
	患者延数	91,561	90,171	75,363
	1日平均	313	307	257
入院	入院患者延数	53,992	49,908	49,131
	1日平均	145.2	136.7	134.4



(2)2023年度診療科別・月別患者数(外来患者延数)

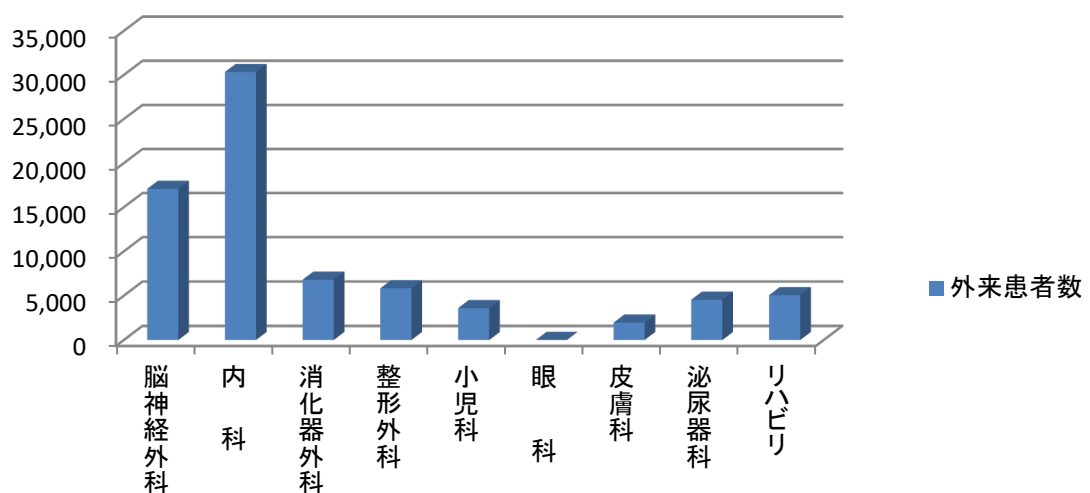
(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
外来	脳神経外科	1,488	1,616	1,494	1,508	1,312	1,351	8,769
	内科	2,441	2,489	2,497	2,640	2,653	2,782	15,502
	消化器外科	573	554	569	556	564	581	3,397
	整形外科	446	474	564	389	444	529	2,846
	小児科	245	299	303	292	309	321	1,769
	皮膚科	175	184	192	189	156	166	1,062
	泌尿器科	405	306	414	389	393	364	2,271
	リハビリ	456	435	445	442	435	382	2,595
	合計	6,229	6,357	6,478	6,405	6,266	6,476	38,211

(単位:人)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
外来	脳神経外科	1,446	1,322	1,472	1,376	1,275	1,411	8,302	17,071
	内科	2,627	2,409	2,577	2,489	2,295	2,424	14,821	30,323
	消化器外科	601	597	610	563	517	508	3,396	6,793
	整形外科	499	488	517	527	463	492	2,986	5,832
	小児科	331	260	348	302	280	299	1,820	3,589
	皮膚科	159	132	168	144	118	166	887	1,949
	泌尿器科	411	380	383	370	367	354	2,265	4,536
	リハビリ	431	365	420	394	389	458	2,457	5,052
	合計	6,505	5,953	6,495	6,165	5,704	6,112	36,934	75,145

診療科別外来延患者数



(3)2023年度診療科別・月別患者数(入院患者延数)

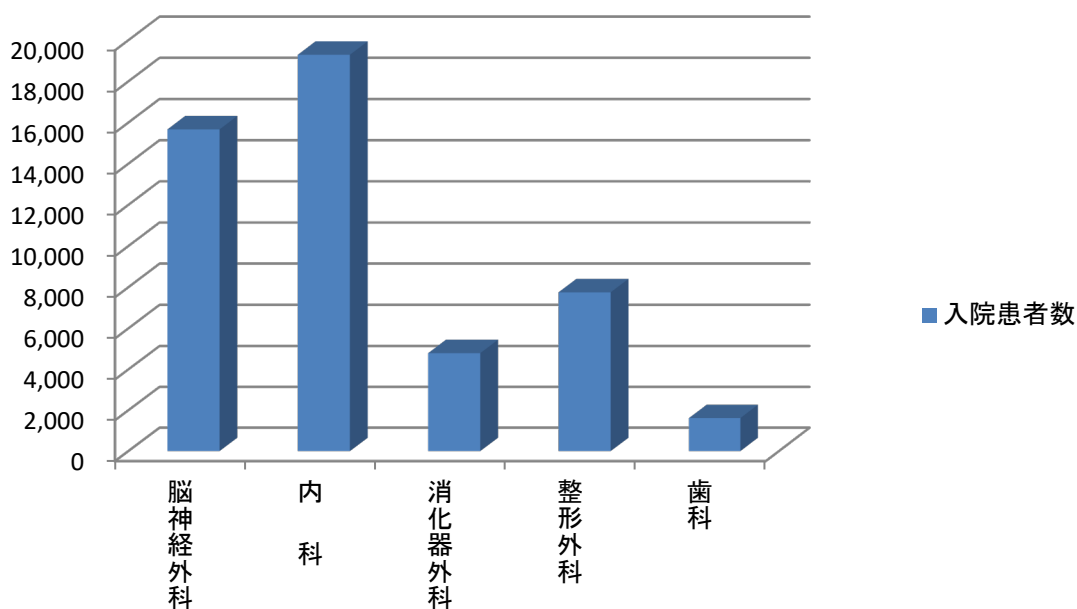
(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
入院	脳神経外科	1,383	1,219	1,171	1,027	930	985	6,715
	内科	1,646	1,650	1,644	1,715	1,621	1,796	10,072
	消化器外科	449	501	528	452	348	427	2,705
	整形外科	626	537	481	590	496	589	3,319
	歯科	148	143	154	99	129	132	805
	合計	4,252	4,050	3,978	3,883	3,524	3,929	23,616

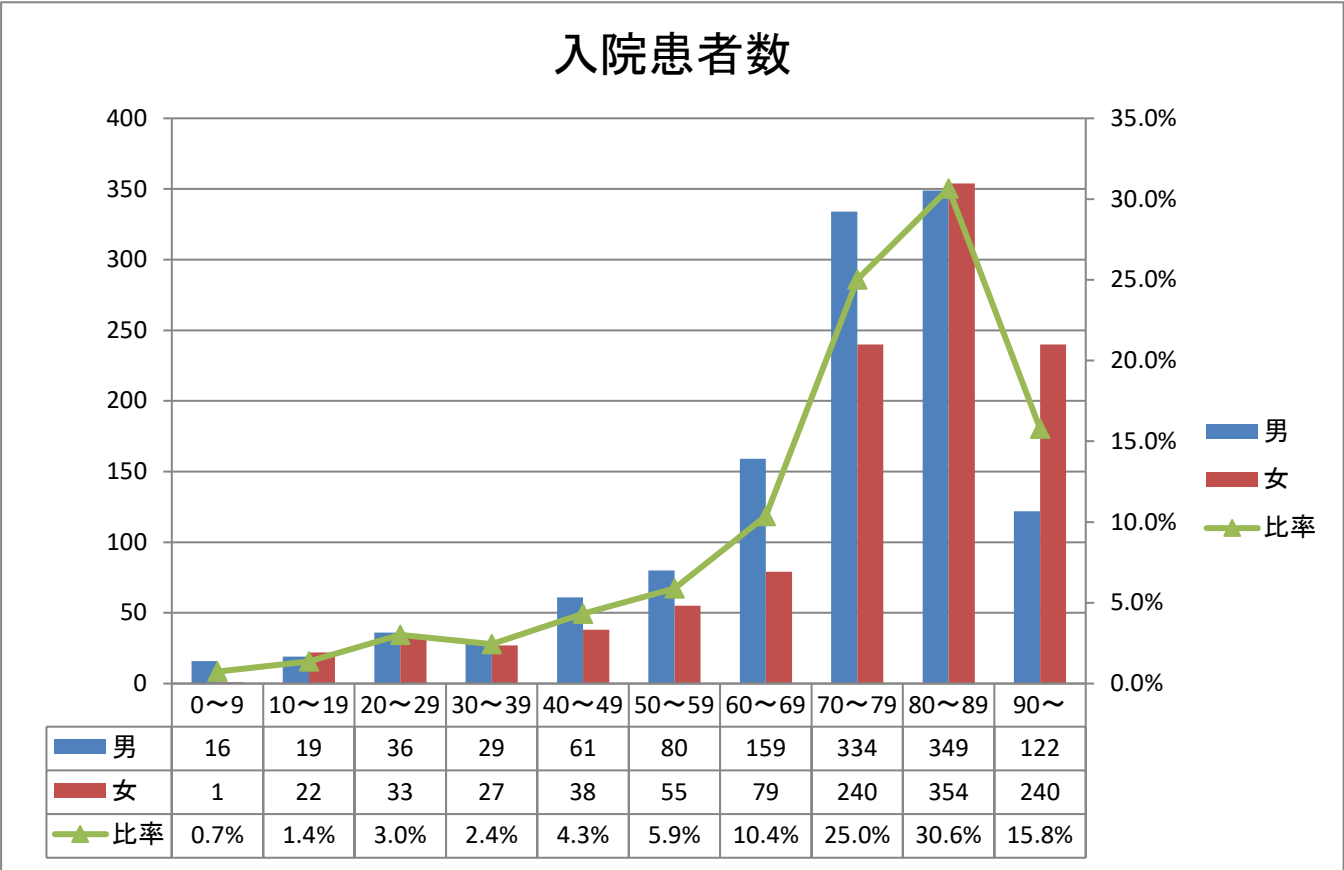
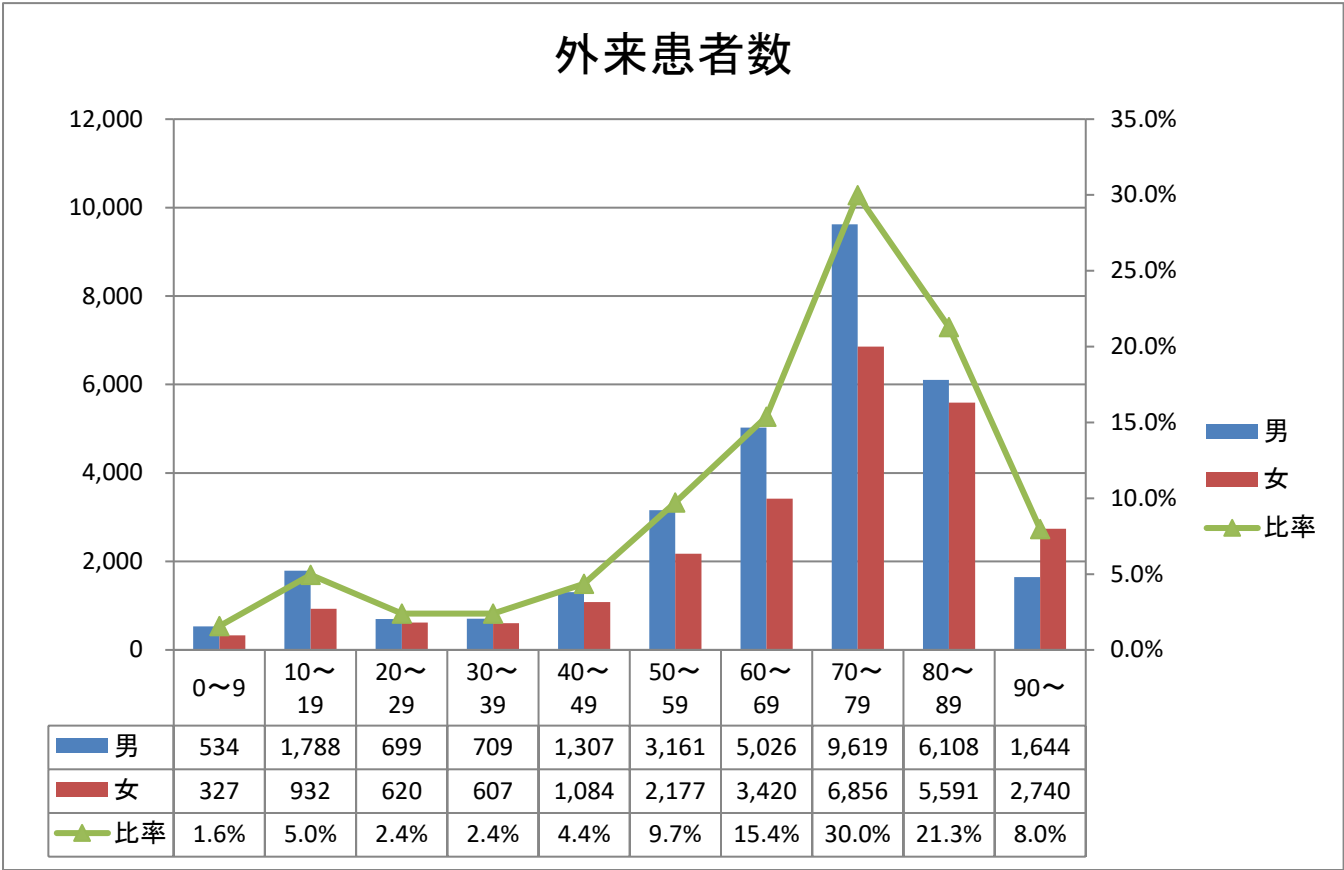
(単位:人)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
入院	脳神経外科	1,157	1,352	1,592	1,728	1,649	1,476	8,954	15,669
	内科	1,587	1,482	1,516	1,444	1,559	1,634	9,222	19,294
	消化器外科	360	256	314	313	370	480	2,093	4,798
	整形外科	602	572	682	795	888	895	4,434	7,753
	歯科	202	105	150	79	146	130	812	1,617
	合計	3,908	3,767	4,254	4,359	4,612	4,615	25,515	49,131

診療科別入院延患者数

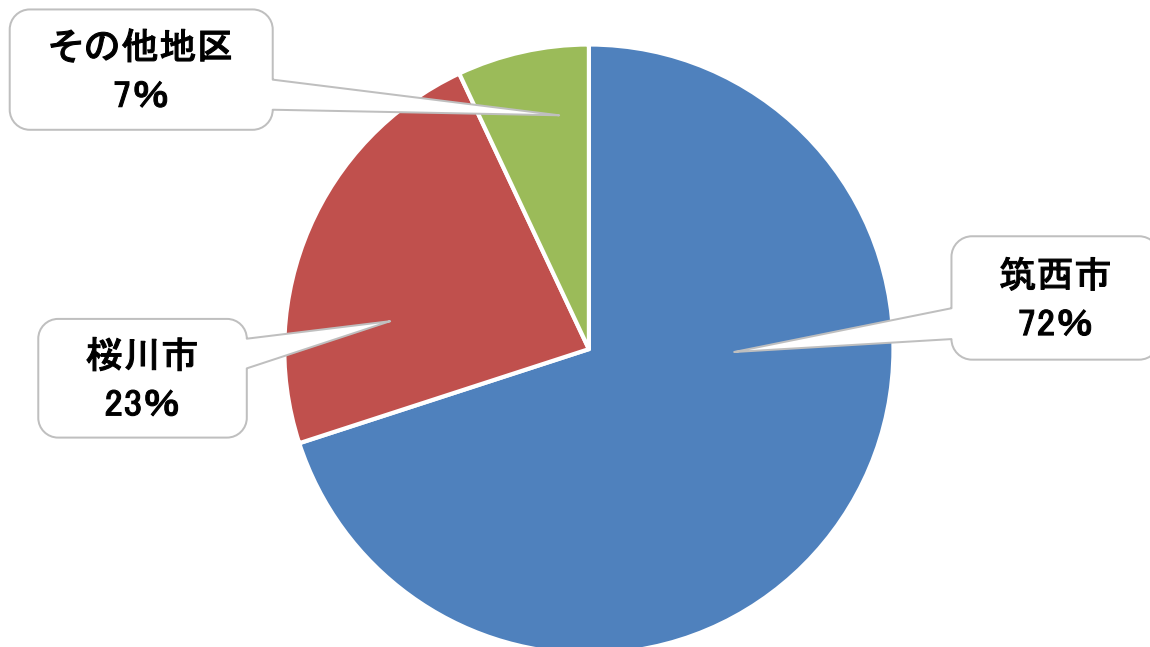


4) 年齢別患者数

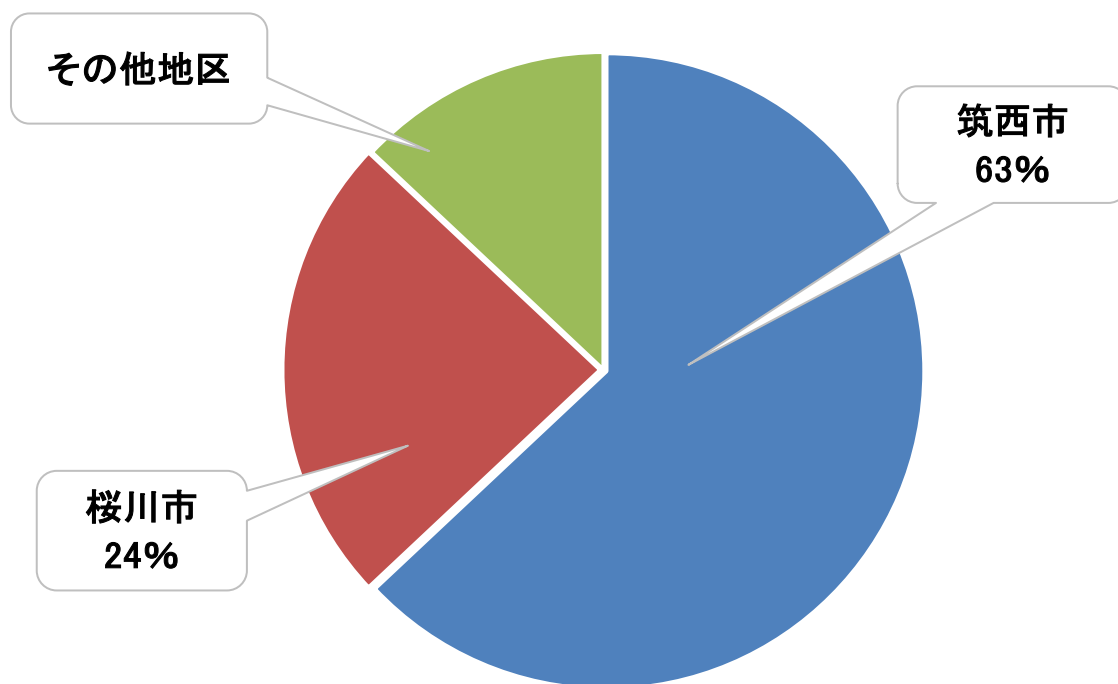


5) 地域別患者割合

外来患者



入院患者



6)放射線科 年度別検査件数

(単位:件)

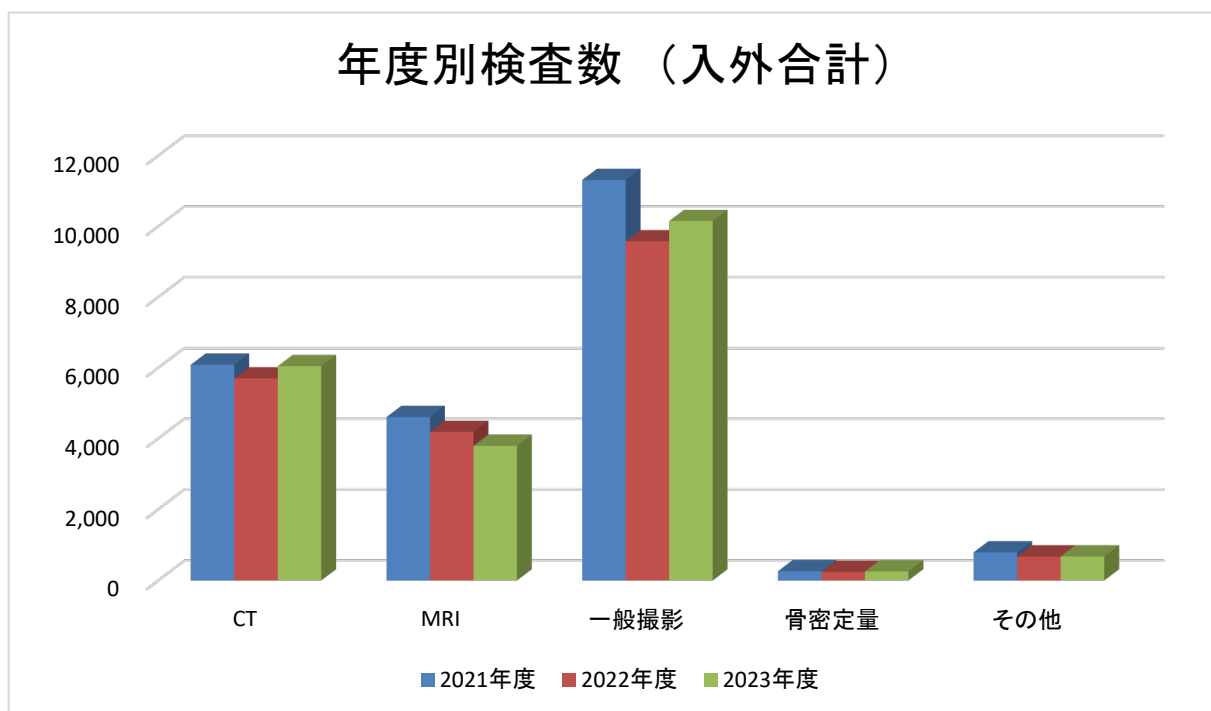
		2021年度	2022年度	2023年度
CT	入院	994	986	883
	外来	5,091	4,713	5,162
	計	6,085	5,699	6,045

MRI	入院	421	332	372
	外来	4,185	3,857	3,419
	計	4,606	4,189	3,791

一般撮影	入院	3,659	2,951	3,192
	外来	7,652	6,625	6,957
	計	11,311	9,576	10,149

骨塩定量	259	241	253
その他	790	673	675

合計	23,051	20,378	20,913
----	--------	--------	--------



7) 検査科 年度別検査件数

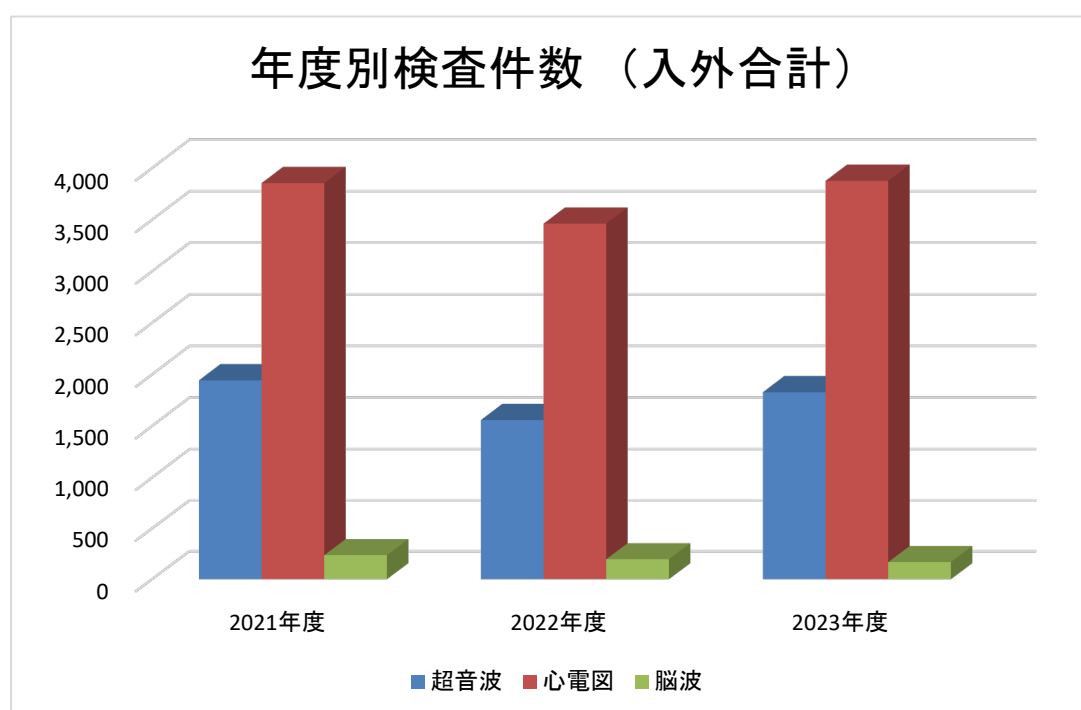
(単位: 件)

		2021年度	2022年度	2023年度
超音波 (心臓)	入院	254	227	288
	外来	421	335	335
超音波 (胸腹部)	入院	79	39	50
	外来	822	680	810
超音波 (その他)	入院	123	73	103
	外来	244	204	242
計		1,943	1,558	1,828

心電図	入院	1,398	1,232	1,568
	外来	2,300	2,094	2,173
ホルター型 心電図	入院	74	68	69
	外来	83	68	67
計		3,855	3,462	3,877

脳波	入院	23	19	31
	外来	214	178	138
計		237	197	169

合計		6,035	5,217	5,874
----	--	-------	-------	-------

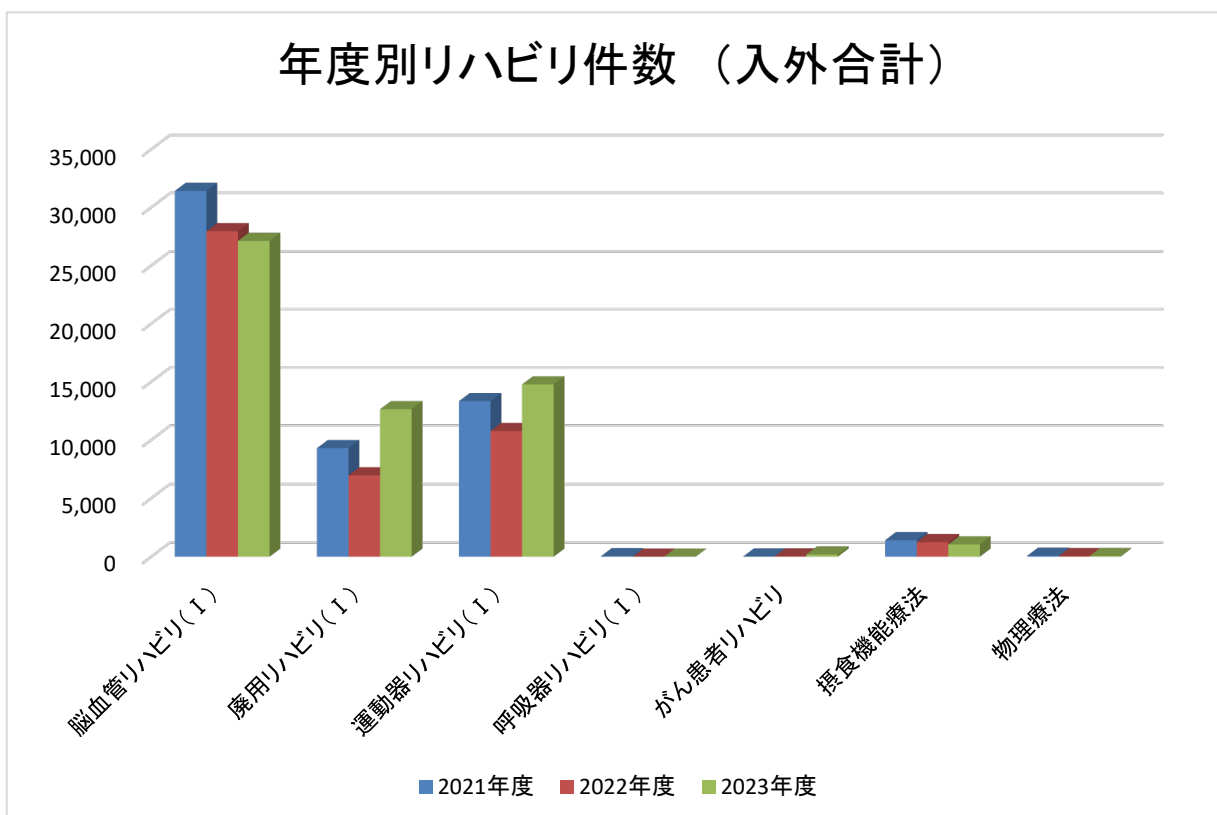


8)リハビリ科 年度別リハビリ件数

(単位:件)

入院	2021年度	2022年度	2023年度
脳血管リハビリ(Ⅰ)	25,368	20,947	19,430
廃用リハビリ(Ⅰ)	9,141	6,894	12,528
運動器リハビリ(Ⅰ)	4,901	6,193	11,369
呼吸器リハビリ(Ⅰ)	44	—	—
がん患者リハビリ	13	22	187
摂食機能療法	1,415	1,245	1,052

外来	2021年度	2022年度	2023年度
脳血管リハビリ(Ⅰ)	6,051	7,004	7,690
廃用リハビリ(Ⅰ)	146	63	111
運動器リハビリ(Ⅰ)	8,435	4,570	3,406
物理療法	76	51	55

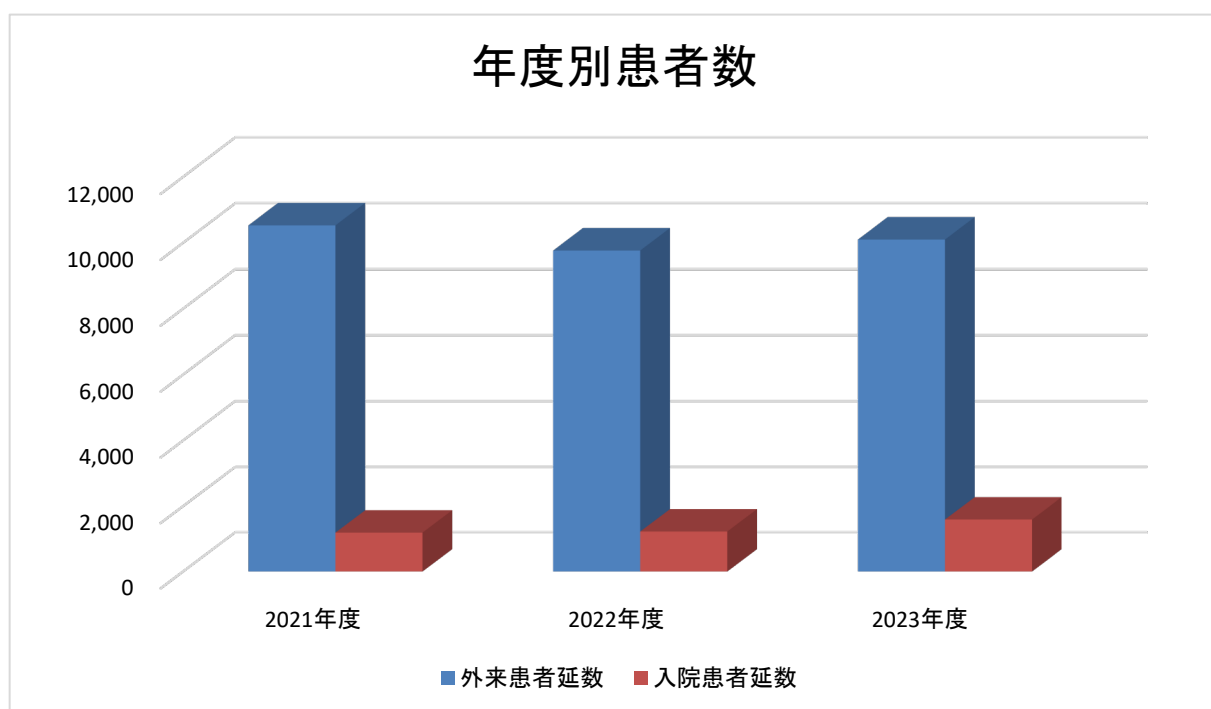


9) 歯科口腔外科 年度別患者延数

	2021年度	2022年度	2023年度
外来患者延数	10,529	9,766	10,099
入院患者延数	1,192	1,226	1,592
手術件数(全身麻酔件数)	284(213)	298(214)	357(255)

主要手術名称

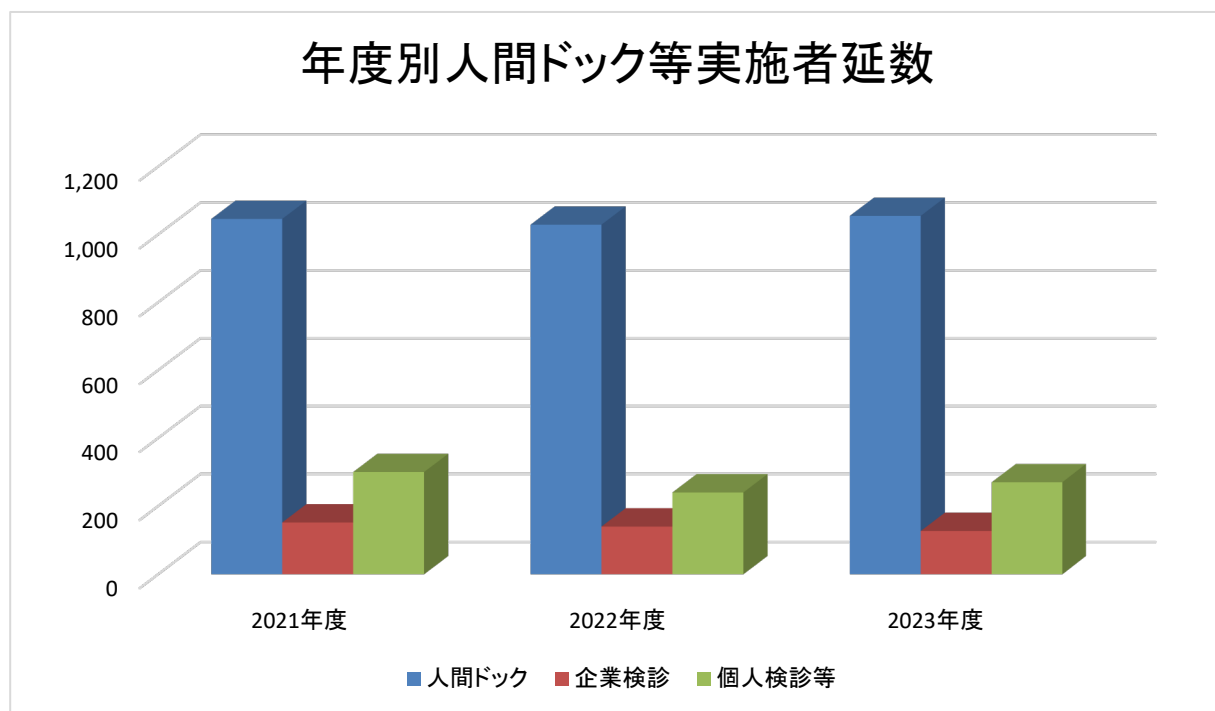
埋伏歯抜歯手術	顎骨腫瘍摘出術	インプラント手術
過剰歯抜歯手術	舌腫瘍摘出術	下顎隆起形成術
舌悪性腫瘍切除術	頬粘膜腫瘍摘出術	顎骨内異物除去術
顎関節形成術	唾石摘出術	有病者・障害者・小児歯科治療
萌出困難歯開窓術	観血的整復固定術	顎下腺摘出術
頸部郭清術		etc



10) 健康医学管理課 年度別人間ドック等実施者延数

(単位:人)

	2021年度	2022年度	2023年度
人間ドック	1,046	1,029	1,055
企業検診	152	140	127
個人検診等	300	240	270

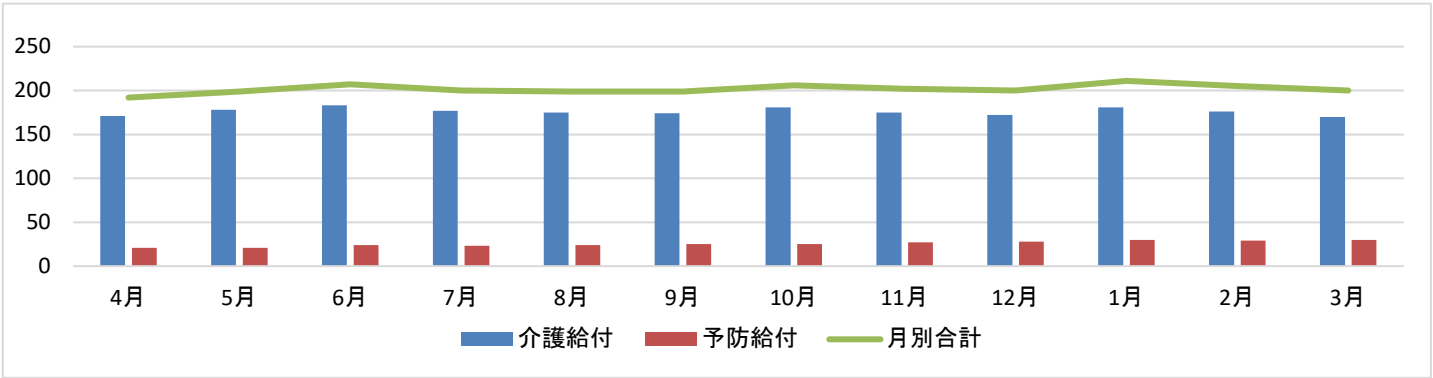


11) 居宅支援事業 居宅件数・医療福祉相談件数

令和5年度 居宅介護支援給付件数

(単位: 件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
介護給付	171	178	183	177	175	174	181	175	172	181	176	170	2,113
予防給付	21	21	24	23	24	25	25	27	28	30	29	30	307
月別合計	192	199	207	200	199	199	206	202	200	211	205	200	2,420

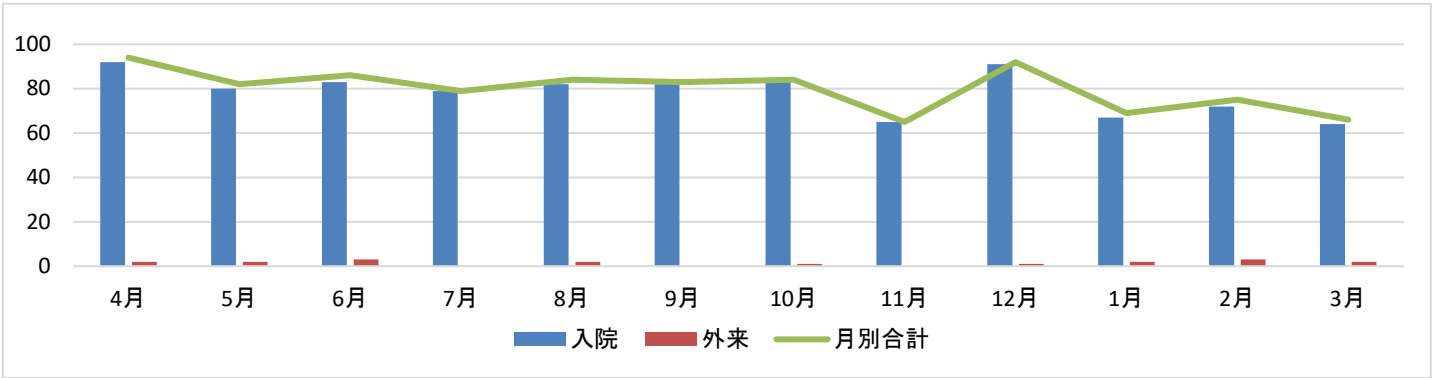


令和5年度 医療福祉相談件数

【SW介入数(新規)】

(単位: 件)

新規介入ケース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
入院	92	80	83	79	82	83	83	65	91	67	72	64	941
外来	2	2	3	0	2	0	1	0	1	2	3	2	18
月別合計	94	82	86	79	84	83	84	65	92	69	75	66	959



【算定実績】

	件 数
入退院支援加算	890件
介護支援連携指導料	112件
退院時共同指導料	24件

12)手術件数(上位20項目)

	手術名称	件数
1	抜歯手術(埋伏歯)	198
2	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	170
3	抜歯手術(臼歯)	154
4	顎骨腫瘍摘出術	96
5	抜歯手術(前歯)	55
6	骨折観血の手術(大腿)	49
7	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	31
8	鼠径ヘルニア手術	30
9	経皮的内視鏡下胃瘻造設術	29
10	人工骨頭挿入術(股)	28
11	骨内異物(挿入物を含む)除去術(四肢)	26
12	関節内骨折観血の手術(四肢)	24
13	口腔内消炎手術	23
14	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術	13
15	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	11
16	食道狭窄拡張術(拡張用バルーン)	10
	内視鏡的乳頭切開術	
17	胃全摘術(悪性腫瘍手術)	9
	腹腔鏡下胆嚢摘出術	
18	抜歯手術(乳歯)	7
19	下顎骨部分切除術	6
	腹腔鏡下虫垂切除術	
20	腹腔鏡下直腸切除術	5

13) 疾病中分類

	疾病分類表(中分類)	基本分類コード	患者数
1	腸管感染症	A00-A09	31
2	結核	A15-A19	2
3	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	B00-B09	4
4	ウイルス肝炎	B15-B19	2
5	その他のウイルス疾患	A80-A99, B20-B34	2
6	真菌症	B35-B49	2
7	その他の感染症及び寄生虫症	A00-B99の残り	8
8	胃の悪性新生物	C16	30
9	結腸の悪性新生物	C18	47
10	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	C19-C20	19
11	肝及び肝内胆管の悪性新生物	C22	1
12	気管、気管支及び肺の悪性新生物	C33-C34	22
13	悪性リンパ腫	C81-C85	3
14	その他の悪性新生物	C00-C97の残り	45
15	良性新生物及びその他の新生物	D00-D48	22
16	貧血	D50-D64	17
17	糖尿病	E10-E14	17
18	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	E15-E90	102
19	血管性及び詳細不明の認知症	F01, F03	3
20	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F10-F19	1
21	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	F30-F39	2
22	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F40-F48	4
23	パーキンソン病	G20	2
24	アルツハイマー病	G30	4
25	てんかん	G40-G41	26
26	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	G80-G83	1
27	自律神経系の障害	G90	9
28	その他の神経系の疾患	G00-G99の残り	34
29	メニエール病	H81. 0	6
30	その他の内耳疾患	H80, H81. 1-H83	51
31	高血圧性疾患	I10-I15	4
32	虚血性心疾患	I20-I25	15
33	その他の心疾患	I01-I02. 0, I05-I09, I27, I30-I52	88
34	くも膜下出血	I60, I69. 0	5
35	脳内出血	I61, I69. 1	30
36	脳梗塞	I63, I69. 3	186
37	その他の脳血管疾患	I62, I64-I67. 1, I67. 3-I68, I69. 2, I69. 4-I69. 8	4
38	動脈硬化（症）	I70	1
39	低血圧（症）	I95	3
40	その他の循環器系の疾患	I00-I99の残り	19
41	肺炎	J12-J18	72
42	慢性副鼻腔炎	J32	1
43	急性又は慢性と明示されない気管支炎	J40	1
44	慢性閉塞性肺疾患	J41-J44	14
45	喘息	J45-J46	6
46	その他の呼吸器系の疾患	J00-J99の残り	113
47	う蝕	K02	10
48	歯肉炎及び歯周疾患	K05	5
49	その他の歯及び歯の支持組織の障害	K00-K01, K03-K04, K06-K08	192
50	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	K25-K27	10
51	胃炎及び十二指腸炎	K29	1
52	アルコール性肝疾患	K70	4
53	肝硬変（アルコール性のものを除く）	K74. 3-K74. 6	3
54	その他の肝疾患	K71-K72, K74. 0-K74. 2, K75-K77	9
55	胆石症及び胆のう炎	K80-K81	46
56	膵疾患	K85-K86	3
57	その他の消化器系の疾患	K00-K93の残り	278
58	皮膚及び皮下組織の感染症	L00-L08	46
59	皮膚炎及び湿疹	L20-L30	2
60	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	L10-L14, L40-L98	8
61	炎症性多発性関節障害	M05-M14	9
62	関節症	M15-M19	1
63	脊椎障害（脊椎症を含む）	M45-M49	16
64	椎間板障害	M50-M51	2
65	腰痛症及び坐骨神経痛	M54. 3-M54. 5	2
66	骨の密度及び構造の障害	M80-M85	1
67	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	M00-M99の残り	17
68	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	N00-N16	15
69	腎不全	N17-N19	11
70	尿路結石症	N20-N23	3
71	その他の腎尿路系の疾患	N25-N39, N99. 0-N99. 1, N99. 4-N99. 9	87
72	その他の男性生殖器の疾患	N41-N51	1
73	月経障害及び閉経周辺期障害	N91-N92, N94. 0, N94. 3-N95	1
74	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	N60-N90, N93, N94. 1-N94. 2, N96-N98, N99. 2-N99. 3	2
75	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	Q00-Q18, Q25-Q99	2
76	骨折	S02, S12, S22, S32, S42, S52, S62, S72, S82, S92, T02, T08, T10, T12	226
77	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	S06, S26-S27, S36-S37	68
78	熱傷及び腐食	T20-T32	1
79	中毒	T36-T65	6
80	その他の損傷及びその他の外因の影響	S00-T98の残り	69
81	特殊目的用コード	U00－U99	98

14) 救急・時間外年度別患者数

(単位:人)

			2021年度	2022年度	2023年度
救急車受入患者数①			1,085	1,024	1,570
内訳	時間内	入院	282	238	385
		外来	180	144	240
		計	462	382	625
	時間外	入院	334	292	480
		外来	289	350	465
		計	623	642	945
時間外患者数②			877	2,023	1,014
内訳	入院		167	1,280	126
	外来		710	743	888
合計(①+②)			1,962	3,047	2,584

